

2019年10月
vol.21

輪っしょい!

わっしょい みんなでかつそう いちのせき



「親子クッキング」～学区を越えて、親子一緒に交流～

関が丘まちづくり協議会

会長：千葉 昭 電子メール sekigaoka@icn-net.ne.jp

お問い合わせ先
電話:0191-21-2150
関が丘市民センター

5つの専門部会が活動しています

当協議会は、平成28年4月に発足し、翌年4月から関が丘市民センターの指定管理を受け、施設管理業務やセンター事業、地域づくり事業を行っています。

地域づくりについては、事業推進、生涯学習、環境、安心安全、子育ての5つの専門部会に分かれて活動しており、今回は子育て部会の活動の様子をご紹介します。

関が丘子供みこし～学区を越えて仲良く参加～



2つの学区の児童が一緒にみこしかつぎ

関が丘は団地内が一関小学校区と南小学校区に分かれています。「子供みこし」は2つの学区が一緒になって参加しています。子どもは地域の宝。今後も多くの参加を期待します。

関が丘KIDSフェス



関が丘 KIDS フェスで演奏する桜町中学校の生徒

1月に行われたこのイベントは今年で2回目の開催となりました。子どもたちの発表の場になると共に、子どもたちや親同士、地域の方々の交流の場にもなっています。音楽やダンス、楽器など様々なものに触れ合う機会であり、色々な出店もあるので、子ども連れのお父さんお母さんから年配の方まで、幅広い年代の方々にご来場いただいています。

子育て部会のメンバーも皆、子育て中。みんなでアイデアを出し合い協力して頑張っています。

いちのせき協働ニュース
輪っしょい!
発行にあたって

本紙では、特色ある地域協働の取り組みや、市民センターの「熱い」取り組みなどを紹介します。
*地域協働とは、地域の自治会、消防団や PTA など各種団体、市民、民間事業者（企業）等の多様な主体が、一定の地域において互いに、又は行政と、地域の特性や課題などを共有した上で、役割分担しながら、地域課題の解決や地域の実情に沿って地域づくりを進めるしくみです。



金沢ふるさと協議会

会長：菅原 春男 電子メール kazawa.furusato2630@gmail.com

お問い合わせ先
電話:0191-82-2954
金沢市民センター

金沢小&市谷小の交流で餅食文化の伝承

毎年恒例となった金沢小学校と新宿区立市谷小学校の交流は32年目を迎えました。PTAの皆さんと地域が一丸となってサポートにあたっています。

当会は、地域の代表として夕食時に餅つきを披露し、皆さんに味わってもらいました。子どもたちにはもちろん、金沢小学校PTAの若い世代にも餅食文化を伝えています。臼と杵を使っての餅つきを子どもたち全員に体験してもらい、PTAの皆さんには「あいどり」(餅をこね返すこと)も伝授しました。



餅つきメンバー勢ぞろい

住みよい地域に一役買って

各集落で何度取り除いても、大型ごみの不法投棄が繰り返されている箇所があります。

そこで一目で不法投棄禁止とわかる看板を設置しました。地道な活動ですが、頑張っています。



設置した看板

「老いも若きも集まる金沢」を目指して

地域振興部会が中心となり金沢小学校の子どもたちの協力で制作されたピザ窯は、金沢市民センターの敷地内に設置されています。

当会のスローガン「老いも若きも集まる金沢」のとおり、各種団体や子どもたちが自由に使える場として提供していきます。



制作中のピザ窯



大原まちづくりの会

会長：菅原 五三男 電子メール ohara_mck@yahoo.co.jp

お問い合わせ先
電話:0191-72-2282
大原市民センター

今よりもっと「大原が好き」と言われるように

当会は平成26年11月に設立。スローガンを「つくるうよ 笑顔の おいしい大原を」と掲げ、子どもたちが大人になった時、今よりもっと「大原が好き」と言ってくれる町を目指しています。

中学生と共に地域課題について考える

平成29年度から地元大原中学校3年生の総合学習の中で「大原の活性化、地域づくり」をテーマに当会メンバーが中学生と意見交換を重ねています。中学生が地域



大原中学校3年生の総合学習に参加

の一員として自分たちの暮らす大原の町をより良くするための解決策を、自分たちの視点で「提言」していくという学習。意見交換していく中で中学生の柔軟な発想力にはいつも驚かされています。

また、平成30年度から大原中学校全生徒を対象とした防災学習にも当会の構成員である各自治会や地域防災関係者が共に参加し、地域の現状や課題について学習支援を行っています。



地区ごとに分かれての防災学習支援

未来を担う若い世代との意見交換は、今後の地域づくりの大きな力になってくれると信じています。また、中学生がまとめた提言を一つでも多く実現できるよう、一緒に考えていきたいと思っています。

青年ふれあい塾

青年ふれあい塾は、平成3年に室根公民館（現室根市民センター）の青年教育事業としてスタートしました。青年たちが自ら企画・運営しながら、チャリティーバザーや米寿お化粧プレゼントなどを実施。青年リーダーの養成や地域貢献活動を行っています。

活動は、幅広い年齢の人たちとふれあえる良き交流の場。高校生ボランティアと活動するときは手本となる先輩として。子どもたちと一緒に活動するときは、親であり指導者として。先輩の人たちと活動するときは素直に耳を傾ける後輩として。さまざまな目線で地域をとらえ、地域に貢献できる活動を行っています。



地元の小学生と
流しそうめん

参加者
募集中

「自分たちの地域を自分たちで」盛り上げていきます！
一緒に参加する仲間を募集しています！

【お問い合わせ先】 室根市民センター 電話 0191-64-2347

地域活動支援センター 工房てんとう虫

川崎町の「工房てんとう虫」は、障がいのある方が軽作業や創作を通じて社会参加を目指す活動の場です。ここでは、施設清掃や利用者の作品をもとにしたオリジナルアートグッズ、お正月飾りなど季節商品の製作販売を行っています。

工房の作業場は「みんなの居場所」として日々開放されており、地域の方々やボランティアが気軽に立ち寄っ



「みんなの居場所」
地域のサロン開催

て、おしゃべりをしながら利用者との交流を深めています。

今後も地域との関わりを大切にしながら、創作活動や交流事業に取り組んでいきます。

お仲間
募集中

地域の「ほっ」とする場所を目指して活動を続けていきます。
ボランティア、お仲間をいつでも募集中！

【お問い合わせ先】 特定非営利活動法人 アートで明るく生きるかわさき
電話 0191-43-4733

もっと
知りたい

協働のそもそも論 ②

一関市では、市町村合併が契機となって「協働のまちづくり」に取り組んだことを前号で紹介しました。今回は、一関市がこれまでにやってきた、具体的な取り組みについて紹介します。

◆平成22年12月、一関市協働推進アクションプランを策定し、
協働のための「人づくり」「環境づくり」「仕組みづくり」に取り組んできました。

○ 協働のための人づくり

・各種研修会を通じて、市民組織のリーダーとなる方々の育成を図るとともに、市職員に対しては、職員行動指針の配布、研修会の開催などにより、協働の意識醸成を図ってきました。

○ 協働のための環境づくり

・集会施設等の整備充実や、いちのせき市民活動センターによる中間支援の充実を図ってきました。

○ 協働のための仕組みづくり

・地域協働推進計画を定め、地域協働体の設立と地域づくり計画の策定を支援してきました。現在33の地域協働体が組織され、それぞれ地域課題の解決のために活動しています。

・市内の公民館を市民センター化し、社会教育の拠点としての機能に加えて、地域課題解決のための拠点として利用できるようにしました。地域が市民センターを管理する「指定管理者制度」の導入も進み、現在19の市民センターが地域による管理に移行しています。



ワークショップで地域課題を語りあう

あなたの参加が地域づくりへの第一歩。地域への参画を通じて、魅力あるまちづくりを進めていきましょう！

第10回 **市民センターの今、ココが熱い!** 奥玉市民センター編

今回の「ココ熱」① 千厩の子どもたちの学びを応援! 「学びの土曜塾」



学びの土曜塾がスタート! しっかりお話しも聞きます

奥玉市民センターでは、千厩小学校児童を対象に「学びの土曜塾」を開催しています。この事業は平成20年度から始まり、様々な体験やスポーツを通して地域内外の人たちと交流しながら心身を育むことを目的としています。

今年度は定員を超える27名から申し込みがあり、6月1日にフットサル教室からスタートしました。全部で8回を予定しており、フットサル教室のほか地元の遺跡巡り、陶芸やそば打ちなどの体験教室、岩手県警等地域以外への移動研修等を計画しています。

担当者からひとこと

事務局員
たかはし しず
高橋 静さん



全8回の教室を通して、子どもたちが出会う人たちや教室を通して経験することが、一人一人の糧となり、奥玉での思い出となることを目指して、毎回子どもたち目線で試行錯誤を繰り返しています。

「学びの土曜塾」スタンプカード

参加している子どもたちに配布しているカードで、各教室に参加するとシールが貰えます。シールを集めると最終回の教室の後に1年分の思い出(素敵なプレゼント)がゲットできるカードです。

まなびの土曜塾スタンプカード

各回の教室が終わったら、完了シールを貼ってね。

たくさん学んでたくさん知ろう!!

6月2日(土) 1回目フットサル教室	7月14日(土) 2回目フットサル教室	8月2日(木) 3回目氷の水族館見学	8月24日(土) 4回目陶芸教室
9月26日(土) 5回目室積古道ウォーキング教室	10月19日(土) 6回目奥玉探検教室	12月7日(土) 7回目そば打ち教室	1月10日(木) 8回目110番の日教室

シールを集めて1年分の思い出をゲットしよう!!

今回の「ココ熱」② 景観形成事業「菜の花を見る会」

「資源を活かした地域づくり」

当センターの指定管理者である「奥玉振興協議会」では、市民センター事業がより魅力的で親まれるものとなるようアイデアを出し合って運営しています。

5月5日の子どもの日には、地元自治会と共催し「菜の花を見る会 Part II」を開催しました。この事業は、奥玉振興協議会地域振興部会で「景観形成事業」をテーマとして遊休農地の活用を計画し、地域の景観形成と活性化の一環として取り組んでいるもので、今年で2回目の開催となります。昨年9月に地権者の協力を得て部会員が菜の花の種を蒔き、連休中に満開となりました。当日は約70人が来場し、一面に咲き誇る菜の花の景観を満喫したほか、JACK5(ジャックファイブ)の皆さんによる野外コンサートを楽しみました。

7月5日にはナタネの採種・収穫作業を行い、10kgの種を収穫しました。来年度の「菜の花畑」へ向けて、活動を継続していく予定です。

さらに、地域振興部会では、樹齢400年を越す古木「種蒔桜(たねまきざくら)」の維持保全や環境整備にも取り組んでおり、奥玉地域の景観をさらに良くすることを目指しています。



菜の花畑の前で演奏する「JACK5」の皆さん



ナタネ収穫作業の様子

【お問い合わせ先】奥玉市民センター(奥玉振興協議会) 電話0191-56-2950

